

仕 様 書
(薬剤部門システム 一式)

下記条件を承知し、阿賀野市財務規則に基づき入札してください。

1	調達物品名及び要件		
1-1	件名	薬剤部門システム 一式	一式
1-2	物品の構成内容		
1-2-1	薬剤部門サーバー装置 (トーション製システム「薬剤部門システムGP」インストール済)	1式	
1-2-2	デスクトップPC	5台	
1-2-3	PC用液晶モニター	6台	
1-2-4	外来用薬袋プリンタ	1台	
1-2-5	入院用薬袋プリンタ	1台	
1-2-6	外来用ラベルプリンタ	1台	
1-2-7	入院用ラベルプリンタ	1台	
1-2-8	計数調剤PDA端末	2台	
1-2-9	散薬監査システム	1式	
2	技術的機能及び要件		
2-1	契約後、下記「3・薬剤部門システム 一式 機能仕様」で示した機能及び性能等要件を満たしていないとあがの市民病院が判断した場合、あがの市民病院の指示に従い納入期限までに要件を満たすこと。		
2-2	契約後、納品までの間に改良版や後継機が発売された場合、速やかに対応すること。		
3	薬剤部門システム 一式 機能仕様		
3-1	薬剤部門サーバー装置		
3-1-1	各制御装置に係わるファイルの保存管理を行う機能を有すること。		
3-1-2	調剤支援システム、注射支援システムのデータ及び情報変換のためのマスタを保管・管理ができること。		
3-1-3	オペレーティングシステムは、Windows Server 2019 Standard以上であること。		
3-1-4	CPUはXeon® プロセッサ E-2124以上であること。		
3-1-5	メモリは8GB以上であること。		
3-1-6	ハードディスク容量は300GB×2(RAID1)以上であること。		
3-2	デスクトップPC		
3-2-1	台数は5台で、処方受信、処方解析、外来薬袋、入院薬袋、入院錠剤を制御可能であること。		
3-2-2	オペレーティングシステムは、Windows 10 Professional (64bit) 以上であること。		
3-2-3	CPUはCeleron G5905 (3.50GHz) 以上であること。		
3-2-4	メモリは4GB以上であること。		
3-2-5	ハードディスク容量は500GB以上であること。		
3-3	PC用液晶モニター		
3-3-1	台数は6台で、サーバー装置、処方受信、処方解析、外来薬袋、入院薬袋、入院錠剤で使用可能なこと。		
3-3-2	入力信号は、アナログRGB、デジタルRGB接続に対応可能なこと。		

3-3-3	最大表示解像度は、1280×1024 (SXGA)程度であること。		
3-3-4	モニターサイズは、19型以上であること。		
3-3-5	スピーカー機能が備わっていること。		
3-4	外来用薬袋プリンタ		
3-4-1	電子カルテから処方送信される外来用薬袋印字が可能なこと。		
3-4-2	印字方式は、半導体レーザー＋乾式2成分電子写真方式であること。		
3-4-3	連続プリント速度は、35枚/分(A4横送り)程度であること。		
3-4-4	ファーストプリントは、フルカラーで7.2秒(標準トレイ1にてA4横送り印刷時)程度であること。		
3-4-5	用紙サイズは、A5・B5・A4が可能なこと。		
3-4-6	製品寿命は、150万ページ以上であること。		
3-5	入院用薬袋プリンタ		
3-5-1	電子カルテから処方送信される入院用薬袋印字が可能なこと。		
3-5-2	印字方式は、半導体レーザー＋乾式2成分電子写真方式であること。		
3-5-3	連続プリント速度は、35枚/分(A4横送り)程度であること。		
3-5-4	ファーストプリントは、フルカラーで7.2秒(標準トレイ1にてA4横送り印刷時)程度であること。		
3-5-5	用紙サイズは、A5・B5・A4が可能なこと。		
3-5-6	製品寿命は、150万ページ以上であること。		
3-6	外来用ラベルプリンタ		
3-6-1	電子カルテから処方送信される外来用ラベル印字が可能なこと。		
3-6-2	印字方式は、感熱・熱転写兼用であること。		
3-6-3	印字速度は、2～8インチ / 秒程度であること。		
3-6-4	用紙サイズ幅は、22～115mmが可能なこと。		
3-6-5	標準インターフェースは、USB・LANが備わっていること。		
3-7	入院用ラベルプリンタ		
3-7-1	電子カルテから処方送信される入院用ラベル印字が可能なこと。		
3-7-2	印字方式は、感熱・熱転写兼用であること。		
3-7-3	印字速度は、2～8インチ / 秒程度であること。		
3-7-4	用紙サイズ幅は、22～115mmが可能なこと。		
3-7-5	標準インターフェースは、USB・LANが備わっていること		
3-8	計数調剤PDA端末		
3-8-1	台数は2台で、電子カルテから処方送信される薬品バーコードチェックが可能なこと		
3-8-2	現在稼働している計数調剤支援システムと接続可能なこと。		
3-9	散薬監査システム		
3-9-1	電子カルテから処方送信される散薬秤量データ受信が可能なこと。		
3-9-2	秤量散剤及び錠剤粉砕により散薬調剤の指示のある処方データを処方解析システムから受け取り、モニターに表示できること。		
3-9-3	薬剤認識はバーコードを利用して自動でできること。		
3-9-4	監査記録紙にはバーコードを印字し、そのバーコードを利用して散薬分包機で分包する際に処方データを自動で呼び出せること。		
3-9-5	秤量結果をプリンタで印字し、データは監査記録として保存できること。		

3-9-6	手入力による調剤にも対応できること。		
3-10	処方受信システム再接続		
3-10-1	電子カルテシステムの処方受信が可能なこと。		
3-11	注射受信システム再接続		
3-11-1	電子カルテシステムの注射受信が可能なこと		
4	設置要件		
4-1	設置場所		
4-1-1	あがの市民病院が指定する各諸室に設置すること。		
4-2	装置の搬入・工事・据付・調整は、以下の要件を満たすこと。また、その費用は入札金額に含むこと。		
4-2-1	装置の搬入・工事・据付・調整は、診療業務に支障をきたさないよう、日時等を発注者と受注者との協議して定めるものとする。		
4-2-2	装置の搬入・工事・据付・調整は、搬入経路・各諸室内設置場所・資材置き場等の必要な養生を行い、建物及び物品及び備品などに損傷を与えないように十分に配慮すること。また、万が一損傷をきたした場合には、発注者と受注者との協議して定め、受注者が責任を持って現状復帰すること。		
4-2-3	装置設置に伴い必要となる工事及び機器搬入の方法は、事前確認及び発注者の承諾が必須条件であり、あがの市民病院担当者との事前調整を行い、その承諾を得てから実施すること。		
5	保守管理体制		
5-1	本装置設置後、発注者の検収を受けた日より、薬袋プリンタ、ラベルプリンタは6か月、その他は1年間の間は無償修理及び交換（人件費を含む）期間とすること。また、本システムが正常に動作するよう1年間は無償で定期的に点検及び調整を行うこと。		
5-2	障害発生時には、復旧のための連絡を受けてからすみやかに現場対応ができる体制を整えること。		
5-3	障害発生時の緊急連絡先情報を作成し、あがの市民病院担当者に提出すること。		
6	その他		
6-1	マニュアル・操作訓練体制等は、以下の要件を満たすこと。		
6-1-1	装置の取扱説明書（操作マニュアル）は、各機器の日本語版を2部用意すること。		
6-1-2	バージョンアップ等により操作方法に変更が生じた場合には、その都度変更部分のみ最新版に差替えるか、あるいは最新版マニュアルを提出すること。		
6-1-3	装置の取扱いに関する教育訓練等は、日時・場所・回数をあがの市民病院担当者と受注者との協議して定め、あがの市民病院関係者が万全の体制で治療を開始できる内容で実施すること。		
6-1-4	装置の運用を円滑にするための技術的なサポートを適切に行うこと。		
6-1-5	使用するうえで必要な消耗品及び故障時の交換部品の安定供給が確保されていること。		
7	納入期限		
7-1	本装置は、2024年3月31日までに納品すること。		

	(ただし、諸般の社会情勢や市場状況を鑑み、受注者の責めに帰さない事由により期限までに納入することが困難になった場合は、納期変更について、契約後に協議により対応する。)		
--	---	--	--